

平成27年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年 7 月10日

上場会社名 古野電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6814 URL <http://www.furuno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 井澤 亮三 TEL 0798-63-1017
 四半期報告書提出予定日 平成26年 7 月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年 2 月期第 1 四半期の連結業績(平成26年 3 月 1 日～平成26年 5 月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年 2 月期第 1 四半期	20,439	22.4	1,223	—	1,626	—	1,318	—
26年 2 月期第 1 四半期	16,700	△3.5	△419	—	6	△98.5	△407	—

(注) 包括利益 27年 2 月期第 1 四半期1,123百万円 (26.0%) 26年 2 月期第 1 四半期892百万円 (△19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年 2 月期第 1 四半期	41.79	—
26年 2 月期第 1 四半期	△12.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年 2 月期第 1 四半期	81,300	38,856	46.3	1,194.58
26年 2 月期	80,074	38,011	45.8	1,163.53

(参考) 自己資本 27年 2 月期第 1 四半期 37,682百万円 26年 2 月期 36,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年 2 月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年 2 月期	—	—	—	—	—
27年 2 月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年 2 月期の連結業績予想(平成26年 3 月 1 日～平成27年 2 月28日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	43,000	16.1	1,800	147.1	2,000	48.8	1,500	131.5	47.55
通 期	84,000	11.0	2,500	67.5	2,800	16.9	1,900	—	60.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期第1Q	31,894,554株	26年2月期	31,894,554株
② 期末自己株式数	27年2月期第1Q	350,010株	26年2月期	349,960株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期第1Q	31,544,569株	26年2月期第1Q	31,544,929株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成26年7月11日（金）に当社ホームページへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に回復が進みました。米国では、企業業況や雇用の改善が続き、生産も拡大基調で推移しました。また、個人消費や住宅市場も堅調でした。欧州では、ドイツや英国の景気が堅調に推移する一方で、フランスなどが低調であり、国ごとに状況が異なるものの、欧州全体では緩やかな景気の回復が続きました。アジア経済は中国を中心に景気の拡大が続いたものの、多くの国で成長率が伸び悩みました。わが国経済は、海外経済の緩やかな回復を背景に輸出が持ち直すなど回復基調が続きましたが、消費増税に伴う駆け込みと反動の影響を受け、成長率は期の前半から後半にかけて大きく変動しました。

このような経済環境の中、当社グループの主要なマーケットであります船用事業の分野では、商船市場において新船建造の受注が増加しており、市場の悪化に歯止めがかかる兆しがみられました。また、プレジャーボート市場は小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。当第1四半期連結累計期間の米ドル及びユーロの平均為替レートはそれぞれ103円及び141円であり、前年同期に比べ米ドルは約17%、ユーロは約18%の円安水準で推移しました。

当社グループにおきましては、円安の追い風を受け、成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組み、船用事業では、好調な漁業市場向けの他、商船市場向けの売上も増加しました。また、産業用事業分野では、中小型生化学自動分析装置やETC車載器などが好調であり、売上が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は204億3千9百万円(前年同期比22.4%増)、売上総利益は73億1千4百万円(前年同期比25.7%増)となりました。また、販売費及び一般管理費はほぼ前年同期と同額の60億9千万円であったことから、営業利益は12億2千3百万円(前年同期の営業損失は4億1千9百万円)、経常利益は16億2千6百万円(前年同期の経常利益は6百万円)、四半期純利益は13億1千8百万円(前年同期の四半期純損失は4億7百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。セグメント利益又は損失は、営業利益(又は営業損失)ベースの数値であります。

① 船用事業

船用事業の分野では、良好な市場環境を背景に、漁業市場向けの売上がほぼ全ての地域で増加しました。また、商船市場向けの売上高もアジアを中心に増加しました。プレジャーボート市場向けは、回復傾向が続いた北米での販売が堅調でしたが、欧州では低調に推移しました。この結果、船用事業の売上高は168億3千9百万円(前年同期比22.8%増)、セグメント利益は11億4千5百万円(前年同期のセグメント利益は4千7百万円)となりました。

② 産業用事業

産業用事業の分野では、医療機器は生化学自動分析装置の中小型機の販売が好調でした。大型機も受注は好調であったものの販売は低調であり、医療機器全体では前年同期に比べ売上が減少しました。GPS機器はカーナビゲーションシステム搭載モジュールなどが低調であったものの、周波数発生装置などが堅調であり、前年同期に比べ売上高は増加しました。また、ETC車載器の売上高も増加しました。この結果、産業用事業の売上高は32億円(前年同期比25.7%増)、セグメント利益は4千万円(前年同期のセグメント損失は5億5百万円)となりました。

③ その他

その他の売上高は3億9千9百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント損失は5千万円(前年同期のセグメント損失は0百万円)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を売上高、利益ともに修正いたしました。

なお、業績予想の前提となる第2四半期以降の為替レートにつきましては、当初の想定レート（米ドル100円、ユーロ135円）からの変更はありません。

【連結業績予想】

第2四半期累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）（単位 百万円）

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B)-(A)	増減率	前期実績
売上高	40,000	43,000	3,000	7.5%	37,034
営業利益	1,300	1,800	500	38.5%	728
経常利益	1,400	2,000	600	42.9%	1,344
当期純利益	750	1,500	750	100.0%	647

通期（平成26年3月1日～平成27年2月28日）（単位 百万円）

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B)-(A)	増減率	前期実績
売上高	80,000	84,000	4,000	5.0%	75,666
営業利益	2,300	2,500	200	8.7%	1,492
経常利益	2,500	2,800	300	12.0%	2,396
当期純利益	1,300	1,900	600	46.2%	△660

なお、当社は、平成26年3月25日、航空・防衛事業部において防衛省との契約で費用の過大請求を行った案件があることを社内調査により確認し、同省に報告いたしました。これらに係る業績への影響のうち、返納金等の発生につきましては現時点では不明なため、今回の業績予想に織り込んでおりません。今後、返納金等の発生により、当社グループの業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,087	15,335
受取手形及び売掛金	19,248	18,918
商品及び製品	17,990	17,052
仕掛品	3,644	3,955
原材料及び貯蔵品	5,372	5,961
繰延税金資産	293	367
その他	2,543	1,928
貸倒引当金	△303	△292
流動資産合計	61,877	63,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,338	4,255
機械装置及び運搬具（純額）	778	789
土地	3,473	3,471
その他（純額）	1,176	1,214
有形固定資産合計	9,767	9,731
無形固定資産		
のれん	753	716
その他	3,097	3,091
無形固定資産合計	3,851	3,808
投資その他の資産		
投資有価証券	2,792	2,896
繰延税金資産	66	64
その他	1,955	1,775
貸倒引当金	△236	△202
投資その他の資産合計	4,577	4,534
固定資産合計	18,197	18,073
資産合計	80,074	81,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,606	9,400
電子記録債務	4,412	4,136
短期借入金	6,953	5,990
1年内返済予定の長期借入金	2,061	2,061
未払法人税等	568	612
賞与引当金	1,490	1,963
製品保証引当金	1,073	1,381
その他	5,721	5,321
流動負債合計	30,889	30,867
固定負債		
長期借入金	6,461	7,189
長期未払金	660	646
繰延税金負債	678	663
退職給付引当金	2,580	2,311
その他	792	764
固定負債合計	11,174	11,575
負債合計	42,063	42,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,534	7,534
資本剰余金	10,074	10,074
利益剰余金	19,024	20,216
自己株式	△179	△179
株主資本合計	36,453	37,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	685	773
為替換算調整勘定	△435	△736
その他の包括利益累計額合計	249	36
少数株主持分	1,308	1,174
純資産合計	38,011	38,856
負債純資産合計	80,074	81,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	16,700	20,439
売上原価	10,881	13,125
売上総利益	5,819	7,314
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	10	1
給料及び賃金	1,949	2,175
賞与引当金繰入額	415	392
退職給付費用	108	100
研究開発費	1,560	980
減価償却費	193	226
その他	2,001	2,212
販売費及び一般管理費合計	6,238	6,090
営業利益又は営業損失(△)	△419	1,223
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	10	11
保険解約返戻金	25	55
為替差益	308	—
訴訟関連収益	—	322
その他	117	134
営業外収益合計	468	528
営業外費用		
支払利息	29	29
為替差損	—	18
外国源泉税	—	40
その他	13	37
営業外費用合計	42	126
経常利益	6	1,626
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	1
その他	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
投資有価証券評価損	128	—
減損損失	1	9
その他	—	2
特別損失合計	129	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△122	1,615
法人税、住民税及び事業税	211	382
法人税等調整額	42	△114
法人税等合計	253	268
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△376	1,347
少数株主利益	31	29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△407	1,318

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△376	1,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184	88
為替換算調整勘定	1,084	△312
その他の包括利益合計	1,268	△223
四半期包括利益	892	1,123
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	817	1,105
少数株主に係る包括利益	74	18

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	船用事業	産業用事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	13,717	2,545	16,262	437	16,700	—	16,700
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	53	53	160	213	△213	—
計	13,717	2,598	16,316	598	16,914	△213	16,700
セグメント利益 又は損失 (△)	47	△505	△457	△0	△458	38	△419

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無線ハンディターミナル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	船用事業	産業用事業	計				
減損損失	—	1	1	—	1	—	1

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	船用事業	産業用事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	16,839	3,200	20,039	399	20,439	—	20,439
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	17	17	177	195	△195	—
計	16,839	3,217	20,056	577	20,634	△195	20,439
セグメント利益 又は損失 (△)	1,145	40	1,186	△50	1,136	87	1,223

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無線ハンディターミナル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	船用事業	産業用事業	計				
減損損失	—	9	9	—	9	—	9